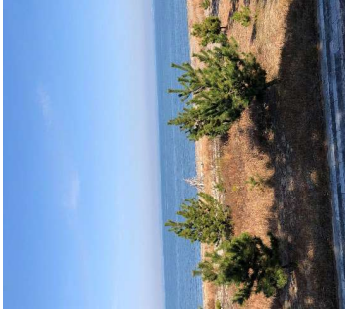


防災のための大湊地域資源発掘プロジェクト

まちづくりに興味がある人、防災に興味がある人！誰かの助けになることに挑戦したい人！この活動では防災活動を通じてまちづくりを行っています！学生で企画し、大湊のまちの人々と一緒に活動を進めています。

防災に興味があれば入れない活動ではありません。この活動をきっかけに防災に興味をもってもらえるような活動です。

TEAM DATA	メンバー数：12名
	活動場所：伊勢市
	実施主体：大湊町未来づくり委員会
	担当教員：千田 良仁（現代日本社会学部）
	活動年度：H28、H29、H30、R01、R02



月別活動

(9月) オンラインでミーティング顔合わせ

(12月) 野外活動大湊へ行き、マップの写真の場所を実際に巡った



(1月) 伊勢志摩共生学の授業で一年生に向けて大湊の魅力を発信

(2月) オンラインミーティング

活動を通して学んだこと

大湊の歴史や文化、地域資源などを学びながら、大湊での「防災」を考えることを目標として活動している中で、やはり人との触れ合いが大切だったり、地域の方のお話を聞きながら活動していくことの大切さを感じました。それでも、私たちでできることは何かをメンバーと探しながら、大湊の地域の方と協力して、大湊を知る、知ってもらおう、ようなスタンスで活動していきたいと思っています。

実施主体からのコメント

大湊町未来づくり委員会
本村さん

皇學館大学の学生さんは、積極的に地域に貢献してくれています。避難訓練での炊き出しや、避難マップなどでも力になってくれました。



担当教員より

現代日本社会学部 千田 良仁

コロナの影響で予定通りの活動が出来なかったと思いますが、こういう状況下でも何ができるかを考えながら活動ができたと思います。今年度の活動で学んだことを後輩に引き継いでいただければと思います。

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

本活動は伊勢市大湊地区の歴史文化や自然環境を再発見するとともに、これらの地域資源を最終的に防災資源として活用し地域に提示することを目的として、平成28年度から継続的に活動しています。本活動では、大湊町振興会を拠点としながら皇學館大学、三重大学などの学生が連携し、各種専門的なを含むフィールドワークを通して大湊の個性を知り、学生という立場から把握します。学生の視点で得た情報を大湊地区の方々に還元することで、地域の防災力向上に向けた活動を目指しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で活動の幅が狭まりましたが、昨年度行われたことの振り返りや今後の活動をどのようにしていくかなどをオンライン上で話し合いました。また、実際に大湊へ行き、これまで制作されていた「大湊まち歩きマップ」や「大湊防災マップ」をもとに、新たに自分たちで写真を撮りながら散策しました。

これらの写真やこれまでの情報をもとに今後の活動としては、大湊のPV動画の作成を考えています。

総合的・多角的な大湊の地域資源を見出す活動を続け、より多くの地域住民に大湊の個性を知って防災につながれるような活動を行いたいと考えています。

